

# 国民年金だより



## 国民年金保険料学生納付特例制度のご案内

国民年金は、20歳以上であれば、学生も加入しなければなりません。しかし、学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

対象となる方は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校(修業年限1年以上である課程)に在学する学生等で、ご本人の前年所得が次の計算式で計算した金額以下であることが条件です。

【所得の目安】  
11.8万 + (扶養親族等の数 × 38万円)

学生納付特例の承認期間は4月から翌年3月までとなりますが、承認を受けた次の年度も在学予定である場合は、4月初めに再申請の用紙が届きます。引き続き、学生納付特例制度の申請を希望される場合は、必要事項を記入の上、ご返送ください。

## 【国民年金保険料学生納付特例の申請について】

学生納付特例制度により、平成31年度(令和元年度)に保険料納付を猶予されている方で、令和2年度も引き続き在学予定の方へ、3月末に基礎年金番号等が印字されたハガキ形式の学生納付特例申請書が送付されます。

同一の学校に在学されている方は、このハガキに必要事項を記入して返送いただくことにより、令和2年度の申請ができます。(この場合、在学証明書又は学生証の写しの添付は不要です)

なお、令和2年度は学生納付特例制度を利用せず保険料の納付をご希望の場合は、納付書を作成して送付しますので、お近くの年金事務所にお問い合わせください。

## 国民年金の任意加入制度について

老齢基礎年金(65歳から受けられる年金)は、20歳から60歳になるまでの40年間保険料を納めなければ、満額の年金を受け取ることができません。

国民年金保険料を納め忘れなどにより、保険料の納付済期間が40年間に満たない場合は、60歳から65歳になるまでの間に国民年金に任意加入して、保険料を納めることで、満額に近づけることができます。(国民年金の任意加入は、お申し出した日からとなります)

なお、老齢基礎年金を受け取るためには保険料の納付済期間と保険料の免除期間等の合算が原則として10年以上必要となりますが、この要件を満たしていない場合は、70歳になるまで任意加入することがができます。(ただし、昭和40年4月1日以前に生まれた方に限られます)

また、海外に在住する日本国籍を持つ方も国民年金に任意加入することがができます。詳しくは、お近くの年金事務所または、役場窓口にお問い合わせください。

## 年金相談・お手続きの際は、ぜひご予約を

日本年金機構の全国の年金事務所では、年金相談や年金請求手続きについて、事前予約が可能です。待ち時間の少ない予約相談をぜひご利用ください。

予約相談希望日の1ヶ月前から前日まで受付しています。

お申込みの際は、基礎年金番号のわかるもの(年金手帳や年金証書など)をご用意ください。

予約方法は、全国共通の予約専用受付電話「0570 05 4890」またはお近くの年金事務所に電話・来訪時にお申込みください。



お問い合わせ先

住民課戸籍年金医療グループ  
電話 34 2121 内線 413  
日本年金機構 旭川年金事務所  
電話 0166 72 5002